



## 外国出張報告書

平成 27 年 4 月 6 日

1. 出張国名        タイ
2. 出張月        平成 27 年 3 月
3. 出張目的        チーク人工林産物の価値付加につながる環境ラベリングのタイ国における事例収集と現状分析、ならびにチーク家具の販売戦略：C

#### 4. 成果の概要

タイの環境ラベリングに関する事例データセットの作成と分析ならびに環境ラベリング適応可能性の検討を行った。環境ラベリングに関する事例データセットに関して、必要情報を付加するなどして完成させた。そこから、林業部門、チーク加工販売部門は農業部門と比較して、ラベリングの実績に乏しいことが明らかになった。タイ側との議論において、農産物と林産物に対する消費者意識の違いと産業規模の違いが影響しているという点が指摘され、引き続き林業における環境ラベリング導入の可能性について検討していくことを確認した。

また、「一般消費者のチーク家具に対するニーズ」に関する研究打ち合わせと販売戦略の検討を行った。2014 年に実施したアンケート調査結果の分析およびそのデータを利用した研究発表に関して議論した。チーク材を他の材料と比較して購入を検討する購買者層の特性を考慮に入れながら、適切な販売促進策を具体化することを共通の課題として認識した。